

広報さかど

# Sakado

3

2020  
No.1216

特集

## さかど葉酸フェア さかど桜だより

お断り  
新型コロナウイルスの影響で、紙面に掲載したイベント等は、中止又は内容が変更になる場合があります。



instagram  
@sakadocity\_official



Twitter  
@sakado\_kouh



Facebook  
@sakado.kohoko

台風 第19号

閩 防災安全課 (内線217)

# 浸水被害に対する今後の取組

昨年10月の台風第19号により、越辺川の堤防の決壊による広範囲の浸水のほか、市内各地で浸水被害が発生しました。今後本市では、減災に向けて、関係機関との連携をはじめとして様々な取組を進めます。

## 市の取組

情報伝達や避難行動を円滑に進める体制を充実させるため、取組メニューによる減災対策を推進します。併せて、国・県への要望活動も積極的に行います。

1



防災行政無線、  
防災メールを活用  
した情報発信の強化

2



防災訓練の見直し  
マイ・タイムラインの  
普及講習会の開催

3



排水ポンプ車の  
運用など、水防  
活動の強化

4



河川監視カメラ  
の設置

5



ドローンを活用した  
被害状況の把握

## 国・県への要望活動

- ① 大谷川雨水ポンプ場にポンプの増設関係(坂戸、鶴ヶ島下水道組合 令和4年度末完成予定)
- ② 飯盛川排水機場ポンプ増設、葛川への排水機場設置
- ③ 高麗川における浅羽地区等の堤防未整備区間の早期築堤

## 入間川流域緊急治水対策プロジェクト

国土交通省荒川上流河川事務所、熊谷地方気象台、埼玉県、川越市、東松山市、坂戸市、川島町が連携し「入間川流域緊急治水対策プロジェクト」を開始します。プロジェクトは坂戸市を含む4市町内で行います。このプロジェクトの中で、市では被災した3エリアについて以下の取組を検討するよう求めています。

### 多重防御治水の推進

堤防の決壊が生じた河川は、共通してダムや遊水地等がなく、主に河道で洪水を処理していました。このため、河道と流域について、次の3つの対策を組み合わせ対応します。

#### 2 遊水・貯留機能の確保・向上 計画的に流域にための対策

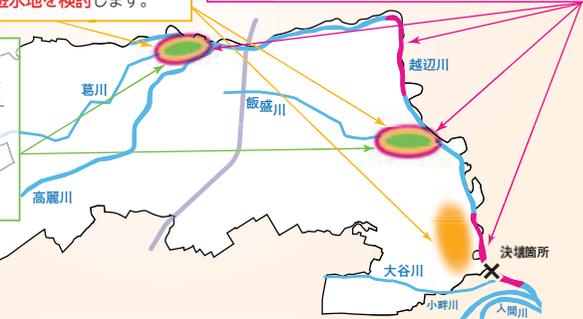
洪水被害を軽減させるため、地形や現状の土地利用を考慮し、外水(河川)と内水(雨水)の両方に対応する遊水地を検討します。

#### 1 河道の流下能力の向上 あふれさせない対策

河道内の土砂掘削や樹木伐採により水位の低減を図ります。また、決壊箇所等の堤防工事も行います。

#### 3 土地利用・住み方の工夫 家屋浸水を発生させない対策

浸水想定区域の土地利用に応じた内水対策(遊水地や排水機場等を組み合わせた河川の合流点処理)を検討します。



プロジェクトの詳細はこちら

<https://www.ktr.miit.go.jp/arajo/arajo00869.html>



決壊堤防の復旧工事 2月上旬～7月下旬